就任の御挨拶

収入役　伊藤兵司

野村前収入役の後任として、はからずも任命され、去三月十一日就任致しました。もとより菲才で、その重責を担当する器でございませんが、幸い各位に御協力を願つて、任期間を無事務めさせて頂くことを念願致しております。

収入事務機関は、長の執行する行政事務とは、その性格を異にした、所謂経理の独立性といわれているもので、予算が間違いなく安全に、然も円滑に運営され消化され、税金の主力が行政を通じて町民の福祉に還元され、寄与し得られるならば、私達の任務の大半は果し得られるものと確信致しております。

こうした観点に、任務の焦点を合わせ、駑馬に鞭打つて、長の企画を補佐し、職務に専念、もつて各位の御期待に答える覚悟でございます。

紙上を借り、一言御挨拶を申し上げます。

議長　伊藤幸太郎氏
副議長　伊藤松之亮氏

月九日招集され、議長、副議長の決定を見ました。同時に各常任委員会委員長も次の如く決定しました。

(◎委員長○副委員長)

総務委員会◎深田正就。○伊藤松之亮。産業土木委員会◎飯田政治。○小川徳重保健厚生委員会◎市田慎治○林吉章。文教委員会◎越川増荒男。○川島保。

また同日議会の同意を得て、監査委員及び教育委員に左の二氏が任命されました。

監査委員　越川増荒男
教育委員　大木　猛

有線放送加入者募集

有線放送の設置については前号で御知らせすると共に区長さんを通じ加入者の募集を行いました処現在まで(五月十日)八百余戸の加入希望を頂きました。

しかしながら一部には全く加入者がない向もありますので本紙上より再募集を行いたいと思います。

有線放送は個々の通信の便を図ることが目的であります、緊急の連絡や役場からの御知らせ又加入者相互の通話も自由にできますので居ながらにして用事が足せるため時間や労力の無駄がはぶけ、仕事の能率がよくなります。本施設が充分に活用されるならばあらゆる面で明るい家庭生活ができ都会と同じような恵まれた文化生活ができます。

経費も前号で御知らせしたとおり当初は現金三五〇〇円(他に電柱一本、労力一人半〜二人)ですみます、が追加加入の場合は相当多額(六、七千円の御負担を願わなければなりませんので将来希望される方もこの際に加入されるよう御奨めいたします。

申込みは区長さんまで成可早く御願いいたします。

尚本事業はすでに国からの補助金交付が決定いたしたので加入者が千戸に充たない場合も九月頃には着工する予定です。

愛の白い羽根

五月一日〜三十日迄

町の割当目標額一〇四、五八九円、今年もどうぞ皆様の御協力をお願い致します。

千葉県商工相談所開設のお知らせ

本年四月一日から中小企業者を対象とする企業診断及び商工相談を取扱う機関として、「千葉県商工相談所」(千葉市本町三の六七電(2)三三六二)が新設されましたので経営相談や企業診断等気軽に且つ積極的に活用される様お願いします。

小作料の公定とは

小作料が永い物納の時代を過ぎ、金納に改められた時は、単に従来の地主小作で決められた物納小作料を石七五円の割に換算したに過ぎず、非常に凸凹があり不合理な事が多いので、改正され田畑共夫々十五等級

田　最高小作料
反当　一、四二〇円
最低小作料
反当　五七〇円

畑　最高小作料
反当　八六一円
最低小作料
反当　三二五円

に区分され、農業委員会でその田畑について各方面より一〇の基準により調査し、県知事の認可を得て定められたのが現在の公定小作料である。

勿論規則に依つて定められてあるので、公定小作料以上を要求する事は厳に禁ぜられてある。

農業委員会の許可を得て正式に結ばれた小作契約書の取交しをして居る場合はその公定小作料が、明記されて居るので問題はないと思うが未だ少数作ら契約を文書化しない者もあるのでそう云う者は小作料の公定がわからずお互に、気まずかつたり、困る場合もあると思う。

今年は契約書の書換時期であるので一日も速く、正式の契約の文書化をする様に重ねて要望する次第である。

住宅金融公庫の増築資金貸付について

住宅金融公庫では昭和三十四年度増築資金の貸付を次の要領で受付ける事になりましたから希望の方は御利用下さい。

一、申込受付期間
四月二十七日から六月三十日まで

二、受付場所
増築予定地最寄りの住宅金融公庫業務取扱金融機関

三、貸付条件及び貸付を受けられる者等に関する詳細は産業課土木係へお問合せ下さい。

新県会議員
畔蒜源之助氏

四月二十三日の県会議員選挙により匝瑳郡から畔蒜源之助氏が選出されました。

今回光町より初めての県会議員を送つた次第で、永らく農協長として郡市に町に尽した氏の手腕に今後の町の産業発展の活躍を期待する。

『がん』七つの危険信号

田植もさ中となり特に農家の方々の疲労を増す頃になりました。

とかく農作業に追われて居ると、ついその公定小作料が、明記されて居るので問題はないと思うが未だ少数作ら契約を文書化しない者もあるのでそう云う者は小作料の公定がわからずお互に、気まずかつたり、困る場合もあると思う。

今年は契約書の書換時期であるので一日も速く、正式の契約の文書化をする様に重ねて要望する次第である。

一、つたり食物の好き嫌いに変化が起きた時(胃がん)
二、子宮から不正出血や、おりものがある時(子宮がん)
三、大便に、血がまじる時(直腸がん)
四、のどの奥に物がつかえたりつまつて居るような感じがする時(食道がん)
五、血痰や、せきが続く時(肺がん)
六、はれものが次才に大きくなる時(乳がん、皮ふがん)
七、原因がわからず次才にやせたり、顔色が悪くなつてくる時

このような場合、県では町役場を通じ「がん健康相談券」を交付して無料にて初診を行い、又必要な検査費用の七割相当を県で負担して居る。

相談所その他詳しい事は役場保健課で相談券交付の時に説明いたします。

どうぞ気軽に申出て下さい。

青少年保護育成運動に御協力を!!

「才十五回青少年保護育成運動」が五月一日より五月三十一日まで全国的に行われますので御協力下さい。

一、問題少年の早期発見
二、喫煙、飲酒行為の少年補導
三、児童の夜間外出補導
四、不良団の発見補導

警察は取締りを主としてその原因を求め、青少年を悪より護る育成に皆さんと共に努力いたしているので煙草や、酒販売各業者は特に御協力下さい。

(八日市場警察署より)

これからの病虫害発生予想とその對策

光町農業改良普及所

○いね黄化萎縮病

予想=多日(五月中下旬)

根據=月末には気温の上昇もあるが梅雨のはしりが現われるので浸冠水が予想される。

対策=浸冠水したものはただちに、排水し水銀剤(水一八立に対して薬剤四五瓦)を撒布する。

○二化めいちゅう

予想=(イ)最盛期=平年より数日早く六月才二半旬(六月十日頃)

(ロ)発蛾量=平年並、海匝地区はやや早い。

根據=三月の平均気温と才一化期発蛾最盛期との間の予察式によると平年より一日早く、さらに四月の平均気温もいままでのところ平年より高い。

越冬幼虫の状態調査では海匝郡ではかなり多く、その他の地区では平年並であり、九十九里地帯でも多いが病死するものが多かつた。

対策=最盛期十日後に薬剤を撒布する適期は県下総括して六月才四半旬(二十日頃)と予想する。

△パラチオン乳剤二〇〇〇倍液一〇アールに九〇リットル

△EPN乳剤二〇〇〇倍液一〇アールに九〇リットル

△デイグテレソクス水溶剤一〇〇〇倍液一〇アールに九〇リットル

△BHC水和剤、乳剤ガンマー〇、〇五パーセント液を一〇アールに九〇リットルを夫々撒布する。

(最盛期及び最盛期二十日後の二回撒布が更に理想的)

光町の人口世帯數

(昭三四、三、三一現在)

本籍数		4.437
本籍人口		16.117人
住民登録人口		12.736人
訳	男	6.078人
	女	6.658人
世帯数		2.347戸

一年間の戸籍届出件数

自昭和33年4月1日至昭和34年3月31日

事項	届出数	事項	届出数
出生	377	婚姻関係終了	1
認知	8	入籍	7
養子縁組	25	分籍	4
養子離縁	7	名の変更	2
婚姻	274	転籍	26
離婚	11	訂正	25
後見	5	その他	25
死亡	167	合計	965
復氏	1		

「日の丸掲揚運動」光町代表と、皇居前広場保存会長、日米講和全権、一万田尚登氏との記念撮影」

農繁期と榮養

光農業改良普及所

田植も本格的となり毎日御苦労様です。

元気で働く為には、何といつても、いい食物をとらなくてはなりません。

「わしらあ七十のこの年迄、茄子の油いためと金平ごぼうの外は、汁飯、こうしか食べないが、こんなにピンピンしている」と、おばあさんは良くいわれます。

卵や牛乳は、病気の時だけ栄養として、つけるもので普段は百姓にはせいたくだという事になつているようです。

それでいて田植上りは、きまりきつたように、ひどいしやくを起して、富山の薬をのんだり、冬になれば膝が痛い、ひざが痛いと云つて湿布にかじりついたりしています。

お父さんは、稲に窒素燐酸加里の三要素をやることに頭をひねり、息子は豚に米糠や澱粉かすや、コロイカルをやる事を、絶対忘れないのにどうして自分の体も生身なんだと云うことを忘れてしまうのでしようか稲のこやしに三要素があつて、葉や実や根を育てる様な役割をそれぞれ持つていると同じ様に、人間の食物にも五つの要素があります

一、糖分
二、脂肪
三、蛋白質
四、塩分
五、ビタミン

類です。これらは肥料と同じ様に、一つ一つが特別の役割を持つているのでどれが一つかけてもいけないのです。私達は豚にコロイカルをはかつてやる様に、自分の食物にも充分な知識と工夫を払つているでしようか。

一体私達は何の為に食物を食べるのでしようか、それは仂く為です。しかもそれは仂く為に取入れる様に考えて行きましよう。

油の中で一番良いのはバターですが、菜種や大豆の油も大変消化が良いので、炒めもの、けんちん汁、油味噌、マヨネーズ、天婦羅ドーナツ等を作つて食べる様にしましよう。

油は一人一年に一升五合位は必要だと云われていますが、忙しい農繁期を元気で仂く為にも油を毎日の食事の中に取入れる様に考えて行きましよう。

日植の仂き方が田畑や鍬や鎌を振まわす激しい百姓仕事なのですから、よつぽど良い物を食べなければならないのです。仂く力に使われるのは主として糖分と脂肪です。農繁期には一日に三千四、五百カロリーと云う大変な熱量がいるのですからこれをどれからとつたら良いか考えてみましよう。

これだけの熱量を一品からとるとすれば、大豆では七合四勺、白米では六合六勺、さつま芋では三キログラム、バターでは四五五グラムです。この様にバター(牛乳の中の油を集めたもの)ならわづか四五五グラムで白米六合六勺の力があるので二倍以上の熱量を出しますから、激しい百姓仕事には一番良い食物ということになります。

編輯後記

ガラス張の政治、その一つが広報の使命であります「ひかり」は、ガラスの曇らないようにと、編集部一同懸命に努力してはおるつもりですが、町民の皆様に御覧頂いたら、まだまだ不満足の点が多々あろうと存じます。

御希望、御批判等ぜひ編集部まで御聞かせ下さらば幸甚です。(編集部)